

自治会「レ」記事：笹丸自治会 頑張ってます！笹丸

笹丸自治会では地域の人たちとの交流を深めるために色々な行事を企画しています。

- 2月「餅つき」
つきたい人も食べたい人も自由参加です。
- 7月「笹まつり（七夕飾り）」
小さい願い事から大きい願い事まで夢がたくさん集まります。
- 9月「秋まつり」
山車を引くこども達の元気いっぱいの姿で、一時暑さも忘れます。
- 11月「文化祭」
手作り作品（押し花絵・ビーズ人形・木目込み人形・書写・絵画）の展示、それに加え楽器演奏もあり充実した一日になります。

その他に隔月（偶数月）には「シニアの会」を開催します。防災対策・折り紙教室・手話教室・リース作りなど楽しく頭を働かせています。毎回地域包括支援センターの方も参加してくださりいろいろな情報交換も行っています。
これからもたくさんの方が自治会活動に参加してくれるような行事を企画していきたいと思います。
（笹丸・小林 忠雄）



笹まつり（オカリナサークルによる演奏会の様子）

雪谷地区自治会連合会
公式HP・SNSはじめました

雪谷地区自治会連合会 公式ホームページ
雪谷地区自治会連合会 Instagram公式アカウント
雪谷地区自治会連合会 LINE公式アカウント

シニアクラブに入りませんか

私達希望ヶ丘自治会にはシニアクラブ希望ヶ丘ときわ会があります。65才以上の会員51名が在籍し、年6回の定例会や神社のお祭り、商店街の盆踊りのお手伝いをしています。ときわ会の中で7月より立ち上げた麻雀部は、新しく購入した麻雀卓2卓を囲んで、遠い記憶をたどりながら、各自腕をふるいます。実力だけが勝負の将棋や囲碁と違い、その時の対戦するメンバーや運やつきなどが味方するので、思いがけず圧勝することもあり、そのことが生きる自信にもつながっています。麻雀部は月2回ですが、8月・9月は他の催事手伝いや夏の暑さのせいでお休みし、10月から再開します。腕に覚えのある方、一緒に麻雀を楽しみませんか。
又、定例会では、輪投げやゲームを楽しんでいます。活動は自治会館の室内ですので、安全・安心です。以前は100人以上いたときわ会の会員も、今は1/2になりました。お仕事、子育て、介護など卒業した皆様のご参加をお待ちしております。
ほとんどの各自治会にはシニアクラブがあります。お近くの自治会のシニアクラブに是非ご入会下さい。
（希望ヶ丘・阿部 倫子）



編集後記

早いもので、編集委員になり2年目になりました。皆様からいただいた記事の内容が面白く、一読者として興味深く読んでいる今日この頃です。また、記事をいち早く読めるのは編集委員の特権だな、と思い、楽しみながら編集に携わせていただいております。地域で様々な活動をされていること、各自治会が活発に活動されていることを知るきっかけにもなりました。これからも諸先輩方のお知恵を拝借しながら頑張っていきます！
（雪谷石川台・長谷川 可織）

〔編集委員〕
笹丸：小林 忠雄／雪谷石川台：長谷川 可織／南雪谷：河野 洋一郎／
東雪谷東中：小山 智恵子／東雪：永久保 美代子／池の台：宇佐美 恵美子／
小池：小山 憲生／上池上：高島 七重

ふれあい雪谷（創刊：平成2年12月20日）年4回発行
（1月：新年号／4月：さくら号／7月：あさがお号／10月：もみじ号／の1日発行）
〔発行日〕 令和7年 もみじ号 10月1日（通巻第140号）発行
〔発行〕 地域力推進雪谷地区委員会〔編集〕ふれあい雪谷編集委員会
〔連絡先〕 大田区地域未来創造部雪谷特別出張所
〒145-0065大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

地域情報紙

ふれあい雪谷

令和7年10月 もみじ号 通巻第140号



花見坂
池雪小学校の裏門辺りから、上池上商店街に続く坂道です。坂の上からは本門寺の本堂の大きな屋根と、五重塔が見えます。コンパクトにまとまった景色は、切り抜いて額に入れたいほどきれいです。
小池・今成 修さんの作品

「ふれあい雪谷」のホームページはこちらからご覧いただけます。

勝海舟記念館特別展のご紹介

勝海舟記念館では現在、特別展「第3回収蔵資料展 守り伝える海舟の歴史遺産」を開催しています。これまで当館は、多くの方々からのご寄附を活用し、資料の収集や修復を行い、展示などを通じて調査研究の成果を公開してまいりました。大切な資料を後世に守り伝えていく当館の取り組みを広く知っていただきたいという想いから、「収蔵資料展」と銘打ち開催する本特別展は、今回で3回目を迎えます。ここでは展示の見どころの一部をご紹介します。

本展は「幕末の海舟」と「明治の海舟」というゾーンに大別されます。「幕末の海舟」の中で特にご注目いただきたいのは、現代の通信の源流ともいえる幕末の「電信」技術に海舟が関わっていたことを示す資料です。海舟は、目付の大久保忠寛（のちの一翁）の推挙があり、洋書を翻訳する部署に配属されますが、それから間もなく、オランダから幕府に献上された電信機の調査と実験を任されました。仲間と共に調査を重ね、浜御殿（現・浜離宮恩賜庭園）で老中・若年寄らの見分のもと行われた実験は、日本人の手による初の公式電信実験と評されています。大久保忠寛が海舟に宛てた手紙など関連資料を展覧し、電信実験拝命直後の海舟の動向の一端を紐解いています。

次に「明治の海舟」の中では、洗足池畔に今も遺る石碑に関する興味深い資料を挙げます。海舟夫妻の墓所の近くには、海舟が西郷の死を悼み自費で建てた「南洲留魂詩碑（なんしゅうりゅうこんしひ）」があり、本碑の裏面には西郷に対する海舟の想いが刻まれています。今回、石碑裏面の碑文草稿と共に、海舟のかつての上司にあたる旧幕臣・永井尚志（ながいなおゆき）からの手紙が新たに見出され、石碑作製の過程で海舟が永井に意見を求めていたことが明らかとなりました。幕末の長崎海軍伝習所の頃から続く海舟と永井の関係性がうかがい知れる貴重な資料です。

今回ご紹介した資料以外にも、海舟の意外な一面や知られざるエピソードを物語る初公開資料が多数展示されています。本展を通じて資料それぞれがもつ魅力に触れ、大切な資料を後世へと守り伝えていく当館の取り組みについてご理解、ご協力をいただけますと幸いです。会期は令和7年11月9日（日）までとなっておりますので、ぜひ足をお運びください。

（勝海舟記念館学芸員・富井 優）



特別展「第3回収蔵資料展 守り伝える海舟の歴史遺産」の展示

登校時学童見守りのあゆみ

平成27年4月から登校時学童見守り運動を始めて、今年4月で10年になりました。開始前はPTA校外班の皆様、山本さん、齋京さんが長く続けてこられました。当時交通部の私と山崎さんを含む6名で、齋京さんの行動に刺激されこの運動を立ち上げました。

小池小学校半径500m以内のスクールゾーン内の危険な箇所では毎朝7：45～8：45の間通行車両に対して、通行許可証取得と通行の自粛をお願いしています。登校児童に対しては「おはようございます」の挨拶から始まります。開始当初はドライバーの皆様から通行自粛に対してのお叱りを受けました。私たちには取り締まる権限はないので、ひたすらお願いに徹しています。

平成31年に学校・PTA・大田区のご協力でスクールゾーン入口に黄色い電柱用ビニール看板が設置されました。令和元年、青山交通部長時に参加人数が12名に増え、田園調布警察署から「通学路安全運転呼びかけ隊」として委嘱され、今のベストを着用しています。運動がこのような形で実を結びスクールゾーン周知が出来たことに対して大変うれしく思いますし、今後はさらに長く続くことを願っています。

地域で行っているこの運動は皆様のご協力とご理解がないとできません。毎朝立っと思っていますが、今日は自動車の通行量が多いと感じるときは、どこかのスクールゾーン入口に「通行防止柵」が置かれていない時です。通行車両は、周知電柱看板・交通標識等はあまり見ていません。「通行防止柵」での車両進入禁止が一番有効な方法です。すべてのスクールゾーン入口に「通行防止柵」を置けばよいのですが、人数に限りがあります。

小池小学校PTAの皆様と小池自治会共同で続けているこの運動にぜひご賛同いただきまして「私も子供たちから元気をもらおう」と思う方が一人でも多くこの運動にご参加頂けることを願っております。申込先は、小池自治会交通部部长 青山まで。

（小池学童見守り・安藤）

登校時学童見守り運動の様子



保護者、地域とともに力を合わせて

日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度、大森第十中学校に着任しました渡邊映二（わたなべえいじ）と申します。今春から、大森第十中学校で校長として学校経営にあたらせていただけることになり、大きな喜びと責任を感じております。着任してまだ数か月ですが、保護者の皆様や地域の方々が温かく学校の教育活動を支えてくださることを実感し、たいへんうれしく感じております。

今年度は、新たに191名の新入生を迎え、生徒総数517名でスタートとなりました。

安全・安心を確保しながら、こどもたちが主体的に活動できる場面を多くし、中学校生活の中で、自己実現を図り、成長していくてくれるよう、教育活動を展開していくつもりであります。また、今まで築いてきた伝統を大切にしながらも、時代の変化に対応し、より良い学校づくりを目指していきます。

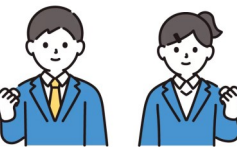
学校は、未来を担うこどもたちの可能性を引き出し、たくましく生きる力を身につける場所であると考えています。地域の皆様と連携し、健全な育成が図られるよう温かく、きめ細やかに、生徒に寄り添いながら指導していきます。

地域の皆様におかれましては、大森第十中学校の発展のために、今まで以上のお力添えをいただければ有難く思います。どうぞよろしくお願いいたします。

（大森第十中学校・渡邊 映二）



夏休みボランティア活動説明会の様子



雪谷地区の表彰者

〔敬称略〕

【大田区交通安全功労者】

〈団体〉上池上自治会

〈個人〉渡邊 亜紀夫 齋京 富夫

【大田区青少年対策地区委員会会長会会長(通算3期)】

石垣 晴子(青少年対策雪谷地区委員会)

大田区青少年対策地区委員会会長会会長を歴代で初めて3期務められ、その感謝状が鈴木区長より授与されました。

